尾鈴山

題字　元文部大臣　瀬戸山三男氏

発行／南九州大学同窓会　編集／同窓会企画広報部　印刷／株式会社　文昌堂

〒885-0035　宮崎県都城市立野町376 4－1　南九州大学同窓会本部事務局
URL／http://hibari.nankyudai.ac.jp/dosokai/　e-mail／dosokai@nankyudai.ac.jp　TEL･FAX／0986-46-1087

ご挨拶

南九州大学同窓会会長　加藤　研悟

立秋とは名のみで暑熱いささかも衰えぬこのごろ、同窓生の皆様におかれましては益々ご健勝のことと思います。また、保護者の皆様におかれましても益々ご健勝のこととお慶び申し上げますとともに、日頃より同窓会活動にご協力をいただき感謝申し上げます。

私は、先日行なわれた同窓会通常総会において再任され、引き続き会長を務めることになりました。全力を尽くして同窓会及び大学の発展に貢献したいと考えています。

さて、南九州大学におきましては、昭和42年に高鍋町において開学し、今年度で45周年を迎えました。卒業生の会員と在学生の準会員を合わせますと一万五百人を超えた大学になっています。この間、平成15年４月には宮崎キャンパスが開設され、健康栄養学部が新設されました。平成21年４月には都城キャンパスが開設され、環境園芸学部が改組新設され、さらに22年４月には人間発達学部子ども教育学科が新設されました。創立以来の園芸学部のみの単科大学から３学部４学科の体制に改組し、更に教育研究水準アップのために平成11年度には大学院も開設されました。

現在の同窓会は園芸学科・造園学科の卒業生を中心に運営がなされていますが、新しい学部・学科からも若い役員・代議員を数多く入れることが喫緊の課題であり、是非とも各支部組織の活動強化をお願いしたいと考えています。

大学では時代の変化とともに、将来を見据えた改組が着々と実行されていますが、なお一層社会的使命を果たすことができる大学へと飛躍する必要があると思っています。大学の卒業生として、大学を飛躍させるために我々のできることは何か、三つのことを考えてみました。

一つは、多様な学生の受け入れは多方面にわたる活動が展開できるということです。二つは、教育におけるよいサービスというのは、適切なカリキュラムと指導計画に基づいた教育体制の確立と卒業後のフォローに体制が確立されているということです。三つは、地元志向を強くし、地元との連携の途を模索する方向を選択することが最善の方法であるということです。六十才定年を迎える卒業生も出始めた中、我々ができることを考えていきたいと思いますので、御意見等をどんどん出していただきたいと考えています。

積極的に物言う卒業生が是非とも必要です。今後とも会員の皆様の倍旧のご協力を切にお願い申し上げます。

ご挨拶

南九州大学長　長谷川　二郎

梅雨明けとともに全国的に猛暑に晒され、熱中症が気になる今日この頃ですが、皆様におかれましては、お変わりなく一層のご活躍のこととご推察申し上げます。皆様が、お体に気をつけて、この夏を元気に乗り切って下さることを、心から願っております。本学では、期末試験が始まり、学生達も暑い中、夏休み前の最後の踏ん張りに汗を流しております。我々教職員は、学生達が安心して、充実した学生生活を送ることが出来るよう努力しておりますが、この間、そのような本学の取組みをご理解下さり、様々な形で支えていただきました同窓生の皆様には、この場をお借りして、厚くお礼申し上げます

さて、南九州大学は宮崎県で最初の４年制の私立大学として設立され、今年で45年になりますが、その間、さまざまな紆余曲折を経ながらも着実に発展を遂げ、今や宮崎県を代表する私立大学として高く評価されるようになりました。しかし、宮崎キャンパスと都城キャンパスに現在、設置されている３学部４学科におきましては、少子化による18歳人口の減少、大都会への諸活動の集中により、他の地方の大学同様、厳しい状況を強いられております。そして、その状況に対応するため、それぞれの学科はそれぞれの特色を出していくことに努めております。

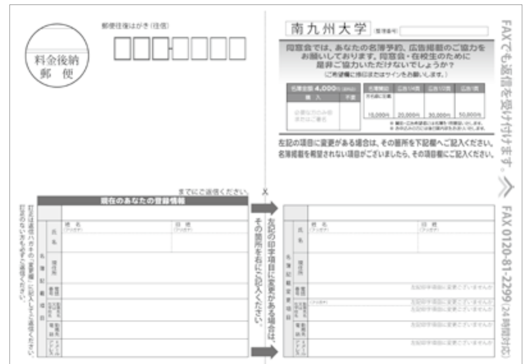
宮崎キャンパスでは、管理栄養学科は、昨年、管理栄養士の国家試験で合格率一〇〇％を記録し、県内だけでなく九州圏内においても注目される存在になっております。また、食品開発科学科は、今年から学科名を変更し（旧学科名は食品健康学科）、地域の食品産業に貢献する活動を充実させており、地域からの期待も高まっております。今年、県内の大学では唯一の醸造免許を取得し、マスコミで報道されたのもその一例です。都城キャンパスでは、環境園芸学部は高鍋から都城に移転してから４年になりますが、高鍋時代の伝統を受け継ぎながら、他の農学系の大学にはない本学ならではの特色を構築することに取り組んでおります。また、一昨年、新設した人間発達学部子ども教育学科は、本学の教育・研究の実績を活かし、他の教育系の大学にはない特色ある教育によって、地域の人材を養成し、日本の教育の現状を改善していくことを目指して頑張っております。

最後になりますが、同窓生の中には高鍋キャンパスについて気にしておられる人も多いと思いますので、それについて少しお話させていただきます。高鍋キャンパスの学部・学科が都城に移転した後の高鍋キャンパスの利用については、様々な提案や申し出がありましたが、それらについては次の４つの条件：①本学のこれまでの実績を活かすことができる、②地域に貢献できる、③卒業生が誇りに思える、④大きな財政的負担を伴わない、を基本的立場にして検討を進めてきました。その結果、高鍋キャンパスをほぼ今の状態で利用できる計画がまとまりつつあります。それについては、まだ最終的に検討しなければならないこともありますので、ここで述べることは差し控えさせていただきますが、計画通りに行けば、皆さんにも喜んでいただけるものになると思っております。

このように本学を取り巻く情勢には、厳しいものがありますが、本学を地方の特色ある大学として更に発展させていくために努力したいと思っておりますので、今後とも皆様のご理解とご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

同窓会名簿の作成

2004 年 7 月の前回の名簿作成から 10 年近く経過し、特に市町村合併の後、住所が大幅に変更となり、通信の発送など同窓会活動全般においても大きな支障を来しております。そこで今回新たに同窓会名簿を作成することになりました。すでにお手元に写真のようなはがきが届いておられる方もいると思います。今般、個人情報保護の立場から、掲載をためらわれる方もおられるかと存じますが、同窓会活動は信頼できる名簿があってこそ成り立つものです。小野高速印刷㈱～大分市～は同窓会名簿作成専門の業者で販売した名簿ごとにアカウントが設定されており、セキュリティーも今までの名簿に比べ向上していると判断し同窓会と契約を交わしました。情報の提供・広告の掲載及び購入にご理解いただきご協力くださいますよう、同窓会としても改めてお願い申し上げます。



郵便往復はがき（往信）

料金後納
郵便

南九州大学

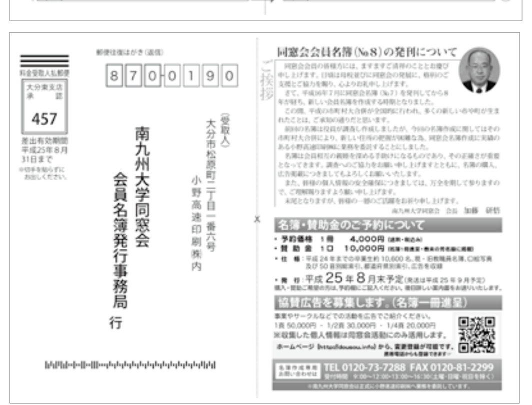
同窓会では、あなたの名簿予約、広告掲載のご協力をお願いしております。同窓会・在校生のために是非ご協力いただけないでしょうか？

左記の項目に変更がある場合は、その箇所を下記欄へご記入ください。名簿掲載を希望されない項目がございましたら、その項目欄にご記入ください。

現在のあなたの登録情報

左記の印字項目に変更がある場合は、その箇所を右にご記入ください。

FAXでも返信を受け付けます。 FAX 0120-81-2299（24時間対応）



郵便往復はがき（返信）

料金受取人払郵便
大分東支店
承認
457
差出有効期間
平成25年8月
31日まで

870-0190

（受取人）
大分市松原町二丁目一番六号
小野高速印刷㈱内
南九州大学同窓会
会員名簿発行事務局
行

同窓会会員名簿（№8）の発刊について

ご挨拶

名簿・賛助金のご予約について

- 予約価格　1冊　4,000円
- 賛助金　1口　10,000円
- 発行：平成25年8月末予定

協賛広告を募集します。（名簿一冊進呈）

TEL 0120-73-7288 FAX 0120-81-2299

クラス会・クラブ OB 会を開きませんか？

同窓会では現在支部組織を中心に取り組んでいます。又昨年より還暦同期会を中心に卒業 30・20・10 周年の集いを取り入れています。（来年度見直し）同窓会は学年、学科が最小のクラスとなり、この集まりは不変と考えますのでクラスの代表幹事を中心に幹事 10 名程度で各クラスが取り組んで戴きたいと思います。

同じくクラブの OB 会も存在しており、クラブ名、代表幹事が中心となって開催をして戴きたいと考えます。

これらの OB が会合を開催した場合、補助金が申請できます。

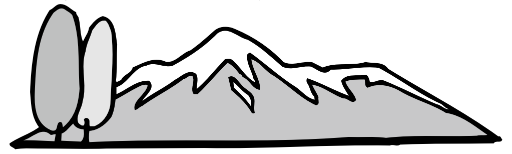
対象は 10 名以上で開催し、感想文、参加者名簿、当日の写真、領収書（1 万円以上）、代表者・連絡先、受け取り方法を副えた場合、年 1 回 1 万円支給致します。尚、感想文･写真は同窓会通信に掲載させて戴きます。

* * *

同窓会通信の名称について

同窓会通信発刊以来、この通信の名称を高鍋キャンパスから遙か眺めることができる『尾鈴山』をそのまま通信の名称としていました。しかし、ご承知のように現在の南九州大学は宮崎キャンパス（健康栄養学部）と都城キャンパス（環境園芸学部・人間発達学部）となり、このままの名称がふさわしいのかという意見もあります。今後宮崎・都城キャンパスを卒業する同窓生の割合が確実に多くなることも事実です。

この『尾鈴山』の名称について様々なご意見を伺い、来年度の発刊までに方向性が出せればと考えています。ご意見や具体的な名称の案がある方は同窓会までご連絡ください。



編　集　後　記

1967 年開学以来 45 年、私たちに歴史があるように南九大にも様々な歴史が刻まれたと思います。私は昭和 48 年 3 月大学卒業、昭和 62 年転勤を機に高鍋町の住民となり、現在に至ります。同窓生でも数少ない高鍋町民です。今回、同窓会通信『尾鈴山』の編集と発刊に携わり、改めて母校の存在や在学当時の自分を思い出すことができました。高鍋町もすっかり様変わりというか俗なことばで活気が今ひとつ感じられないのは、全国的な傾向以上にやはり学生など若者が減ったのも原因ではないでしょうか。新しいメンバーでの初めての通信編集です。ご意見や要望をお聞かせください（44 H　H・A）

ポスター 大募集‼

sketch book

後輩たちに活動を紹介しませんか？

◆趣　旨

南九州大学が創立して 40 年以上が経ちました。卒業生は全国、いや世界中の第一線で活躍しています。ただ大学のある宮崎県を離れて活躍される方が大多数のため、後輩たちがその勇姿を見る機会は限られています。

そこで、卒業生の皆様に活動の状況を後輩たちに伝えていただく機会を企画しました。後輩たちの励みや目標となるような元気一杯の活動をご紹介ください。

◆募集内容

仕事、作品、制作、ボランティア、趣味などの活動を紹介するポスター。

例：育てている植物、造園施工、公園設計、所属する福祉ボランティアの活動、
趣味の写真などなど…

◆展示場所

大学祭や学会などのイベント時

多くの学生や地域の住民の皆様に見ていただけるような機会に展示します。

◆規　格

A 1版（594 × 841㎜）縦使い　カラーまたは白黒

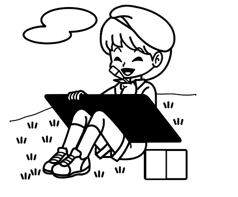
卒業年と氏名、都道府県名を明示

印刷したポスターまたはそのデータをお送りください。データをお送りいただいた場合は同窓会で印刷します。展示時には、A 1版のアルミパネルに入れます。

お送りいただいたポスターは原則としてお返しできません。

◆募集期間

2012 年 11 月 9 日（金）まで



◆問い合わせ先・送付先

〒 885-0035　宮崎県都城市立野町 3764-1
南九州大学　同窓会本部事務局
Tel ／ Fax 0986-46-1087（直通）
dosokai@nankyudai.ac.jp

日本造園学会九州支部　平成 24 年度宮崎大会 開催要領

◆開催月日　平成 24 年 11 月 24 日（土）・25 日（日）

◆開催場所　南九州大学都城キャンパス
（宮崎県都城市立野町）

◆大会テーマ「東アジアのランドスケープを考える（仮題）」
九州支部統一テーマ「かなたの自然と身近な共生景観」

◆日　程

【第 1 日目】 11 月 24 日（土）（仮設定）

• 研究・事例報告会	9：00 ～ 12：30
• 学会支部総会	13：30 ～ 14：15
• 講演会「上海の造園・緑化事情（仮題）」 上海交通大学農業生物学院連携交流センター長 李玉紅 造園学博士 准教授	14：15 ～ 15：30
• パネルディスカッション 「九州・沖縄のランドスケープ遺産（仮題）」	15：45 ～ 18：00
• 交流会	19：00 ～ 21：00
• ポスター展示	9：00 ～ 17：00
• 造園関連作品等展示	9：00 ～ 17：00

【第 2 日目】 11 月 25 日（日）
- テクニカルツアー（宮崎県内の造園緑地事例地の視察）

◆参加費（変更の可能性あり）

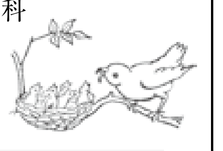
• 大会参加費	会員 3,000 円	学生 1,000 円
• 講演会	参加費無料	資料代 1,000 円
• 交流会	会員 5,000 円	学生 2,000 円
• テクニカルツアー	2,500 円 （弁当代・茶代、入場料含）	

◆研究・事例報告の申込み、最新情報

WEB サイト参照　http://www.qzouen.jp/

◆問い合わせ先

〒 885-0035 宮崎県都城市立野町 3764-1
南九州大学 環境園芸学部 環境園芸学科
地域景観学研究室　平岡直樹
Tel ／ Fax 0986-46-1067（直通）
hiraoka@nankyudai.ac.jp



同窓会文庫の書籍の募集について

会社の退職により造園の専門書が不要となりつつあり、後輩へ譲りたいとの提案が会員よりありました。大学図書館に無い図書・資料であれば、図書館にＯＢ文庫として置いても良いと承諾を得ました。寄贈として本人の名前入りのラベルを裏表紙に貼り付けます。図書館で複数冊になる場合は同窓会預かりとし大学祭等フリーマーケットで安く学生に提供したいと思います。売り上げは一般会計へ事業収入とさせて戴きます。賛同の会員は宅急便で同窓会まで送付下さい。なお送料は今回申し訳ありませんが元払いでお願い致します。１年を経過し事業収入が見込めた場合着払いと考えています。宜しくお願い致します。（同窓会文庫担当）

平成24年度同窓会総会報告

総会の様子

6月16日（土）15：30より南九州大学宮崎キャンパス会議室において役員19名、代議員7名の出席で平成24年度の総会が開催されました。議長を加藤会長に選任し議案に則り議事進行され、最初に1号議案の平成23年度事業報告、同決算報告、監査報告がなされ承認されました。続いて2号議案の平成24年度事業計画の中で①組織の強化で支部役員8名の選任。②新聞「尾鈴山」の発行と名称等が検討されました。③総会時に同期会開催が併記されました。④支部会の日時をホームページに載せる要望がありました。⑤ＯＢパネル展示や学生の要望を聞く会の開催等が承認されました。予算計画も其々修正され承認されました。3号議案の役員改選も承認されました。その後その他の議題となり①名簿作成が小野高速印刷（大分市）で決定しました。②次年度総会を平成25年6月29日（土）広島県で開催する事が決まりました。③同窓会文庫としてＯＢの不要になった書籍を図書館へ寄贈します。④ＯＢ10人以上で会合をした時に1万円の補助金が決まりました。その他基金、フェイスブック掲載等が検討され本年度の総会は終了致しました。詳しくはホームページをご覧下さい。

◆ ◆ ◆

合同同期会・懇親会開催される

同期会の様子

16日（土）宮崎観光ホテルにて4期生の還暦同期会、卒業30年の53HLGA、卒業20年の63HOLGAIF、卒業10年の10HOLGAIFの同期会が開催されました。総会後の懇親会でもあり、長谷川理事長他学園大学関係者17名、後援会より会長1名、短大同窓会1名、旧教職員2名、同窓会役員代議員24名、事務局1名、同期会8名、学生代表3名、合わせて57名の参加でした。

理事長挨拶で高鍋キャンパスの動向が話されました。終わりは少し早くなりましたが、安田事務局長の音頭で盛会裏に終了致しました。2次会は2会場に分かれ宮崎の夜を堪能しました。宮崎がほんの少し元気になったかな。

◆ ◆ ◆

3キャンパス巡りと同期の集い報告

翌日17日（日）に参加者7名の参加で宮崎、都城、高鍋キャンパス巡りが開催されました。最初は食品健康学部の宮崎キャンパス（霧島町）で7階建の本館、中庭を見学しました。次に都城キャンパスに向かい、川信環境園芸学科長の案内で本館、フィールドセンターの見学を行いました。大学の移り変わりを見て取れます。昼食を佐土原の小丸新茶屋でとり、懐かしの高鍋キャンパスに向かいました。参加者は学生当時の思い出を話しながら学内を一巡し、ひと時を過ごしました。

18時より、宮崎観光ホテル・はな花で12名参加の同期会の集いが開催されました。

南九州大学での思い出を肴に楽しい飲み会となり同窓会の余韻を楽しみました。

◆ ◆ ◆

還暦5期生・広島支部合同懇親会のご案内

日　時：平成25年6月29日（土）　18：00～20：00

場　所：広島市内（選定中）

※会場の詳細は決定次第、ホームページに掲載します

参加者：①同窓会役員・代議員

②還暦、5期生：168名　　46Ｈ／Ｌ

③広島県内在住者　　約500名

④一般ＯＢ参加者：上記以外の卒業生の皆様には案内を出しませんが、希望者は参加可能です。当日参加名簿を作成しますので、事務局まで早めに御申し込みください。

本案内は同窓会ホームページにも載せる予定です。

※対象者には2ヶ月前に返信はがきを同封してご案内いたします。旧教職員の先生方で招待を希望する先生のリクエスト募集中です。

翌日は広島日帰り観光ツアー等も計画しています。

当日連絡先：宮崎事務局担当　090-9499-3382（徳原）
広島担当　090-1019-5558（小田）

【平成25年度　同窓会総会のご案内】

平成25年度の総会を広島県広島市で開催いたします。

日　時：平成25年6月29日（土）
15：30より

場　所：広島市内（選定中）
※詳細は決定次第、
ホームページに掲載します

その他：総会は役員、代議員で行われます。役員、代議員名簿は同窓会ホームページをご参照ください。尚、代議員は各県支部より選出されています。空席の支部もありますので、役員又は事務局へ推薦（他薦、自薦）して下さい。

会　計　報　告

平成23年度収支決算報告書

◎一般会計　　自　平成23年4月1日
収入の部　　至　平成24年3月31日

科　目	予算額	決算額	差　異	摘　要
1. 会費収入	4,400,000	4,520,000	120,000	
正会員	100,000	160,000	60,000	
準会員	300,000	880,000	580,000	
新入生※（H23･24）	4,000,000	3,460,000	△ 540,000	
2. 広告代・寄付	100,000	0	△ 100,000	
3. 事業収入	10,000	470	△ 9,530	
名簿販売	10,000	470	△ 9,530	送料のみ
4. 雑収入	500	1,351	851	
預金利子	500	1,351	851	
返金	0	0	0	
5. 基金	0	0	0	
合　計	4,510,500	4,521,821	11,321	
前年度繰越金	2,436,644	2,436,644	0	
総　計	6,947,144	6,958,465	11,321	

※（新入生のH23は平成23年4月以降、H24は平成24年3月までに入金されたものを計上）

支出の部

科　目	予算額	決算額	差　異	摘　要
1. 管理費	2,650,000	1,891,215	△ 758,785	
印刷費	500,000	144,900	△ 355,100	同窓会通信
人件費	600,000	542,600	△ 57,400	事務員・アルバイト
会議費	200,000	234,028	34,028	会議時お茶・昼食代
交際費	50,000	53,000	3,000	生花代（入学式･卒業式）
需用費	1,300,000	916,687	△ 383,313	
旅費交通費	500,000	533,000	33,000	役員交通費
備品費	100,000	0	△ 100,000	
消耗品費	50,000	64,161	14,161	事務用品等
通信費	600,000	260,226	△ 339,774	通話料、郵便代
慶弔費	30,000	30,435	435	教職員2名
手数料	20,000	28,865	8,865	会費払込手数料
2. 事業費	350,000	286,858	△ 63,142	
卒業記念品	250,000	186,858	△ 63,142	印鑑付きボールペン173個
大学祭支援金	100,000	100,000	0	5万円×2（宮崎C/都城C）
3. ブロック補助金	700,000	100,000	△ 600,000	東海ブロック
4. 寄贈費	200,000	0	△ 200,000	
5. 基金	1,000,000	1,000,000	0	郵便局定期
6. 返金	0	0	0	
7. 予備費	2,047,144	829,796	△ 1,217,348	東北地震見舞い金及び活動費・同期会
合　計	6,947,144	4,107,869	△ 2,839,275	

6,958,465 － 4,107,869 ＝ 2,850,596（次期繰越金）

現預金内訳

	内　訳	金　額	備　考
郵便局	会費振込残高	2,755,070	
普通預金	都城一万城郵便局	6,909	
普通預金	宮崎銀行	13,401	
現　金		75,216	
合　計		2,850,596	

基金

	平成22年度残高	平成23年度残高	差　異
都城一万城郵便局	8,524,298	9,527,442	1,003,144
宮崎銀行	1,500,000	1,500,000	0
合　計	10,024,298	11,027,442	1,003,144

※ H24.3.29　1,000,000円郵便局定期預金へ

平成24年度収支予算計画書

◎一般会計　　自　平成24年4月1日
収入の部　　至　平成25年3月31日

科　目	予算額	前年度決算額	差　異	摘　要
1. 会費収入	4,400,000	4,520,000	△ 120,000	
正会員	100,000	160,000	△ 60,000	
準会員	300,000	880,000	△ 580,000	
新入生（H24･25）	4,000,000	3,460,000	540,000	
2. 広告代・寄付	100,000	0	100,000	
3. 事業収入	10,000	470	9,530	
名簿販売	10,000	470	9,530	
4. 雑収入	500	1,351	△ 851	
預金利子	500	1,351	△ 851	
返金	0	0	0	
5. 基金	0	0	0	
合　計	4,510,500	4,521,821	△ 11,321	
前年度繰越金	2,850,596	2,436,644	413,952	
総　計	7,361,096	6,958,465	402,631	

支出の部

科　目	予　算　額	前年度決算額	差　異	摘　要
1. 管理費	3,320,000	1,891,215	1,428,785	
印刷費	500,000	144,900	355,100	
人件費	1,000,000	542,600	457,400	
会議費	250,000	234,028	15,972	
交際費	50,000	53,000	△ 3,000	
需用費	1,520,000	916,687	603,313	
旅費交通費	700,000	533,000	167,000	
備品費	100,000	0	100,000	
消耗品費	70,000	64,161	5,839	
通信費	600,000	260,226	339,774	
慶弔費	30,000	30,435	△ 435	
手数料	20,000	28,865	△ 8,865	
2. 事業費	550,000	286,858	263,142	
卒業記念品	250,000	186,858	63,142	
大学祭支援金	200,000	100,000	100,000	2キャンパス×10万円
同期会補助金	100,000	0	100,000	総会と同時開催
3. ブロック補助金	800,000	100,000	700,000	ブロック・支部 支部支援旅費 少人数支援費
4. 寄贈費	200,000	0	200,000	
5. 基金	1,000,000	1,000,000	0	
6. 返金	0	0	0	
7. 予備費	1,491,096	829,796	661,300	
合　計	7,361,096	4,107,869	3,253,227	

きりしま祭のご案内

◆場所：宮崎キャンパス

◆日時：11月24日（土）、25日（日）

◆実行委員長：川越　聖人
（携帯：090－1923－1591）
（学祭室：0985－61－1255）

今年で8回目を迎えるきりしま祭。
たくさんの企画をご用意しております。皆様のご来場を心よりお待ちしております！
(＾―＾)／

ひばり祭のご案内

◆場所：都城キャンパス

◆日時：12月8日（土）、9日（日）

◆実行委員長：森藤　太
（080－1633－6384）

こんにちは！都城キャンパスでの大学祭「ひばり祭」は今年度で3年目、高鍋キャンパスから数えると第45回となります。今年度のテーマは「楽祭」で、毎年恒例№1決定戦や豪華賞品が当たるビンゴ大会、みどりの会による植物販売の“花市”そして今年度もフィナーレでは花火の打ち上げを計画しています！学生や来場された方みなさんが楽しめる祭りを目指し、委員一同盛り上げて行きますので、是非、是非お越しください。お待ちしています！

高鍋キャンパスの今

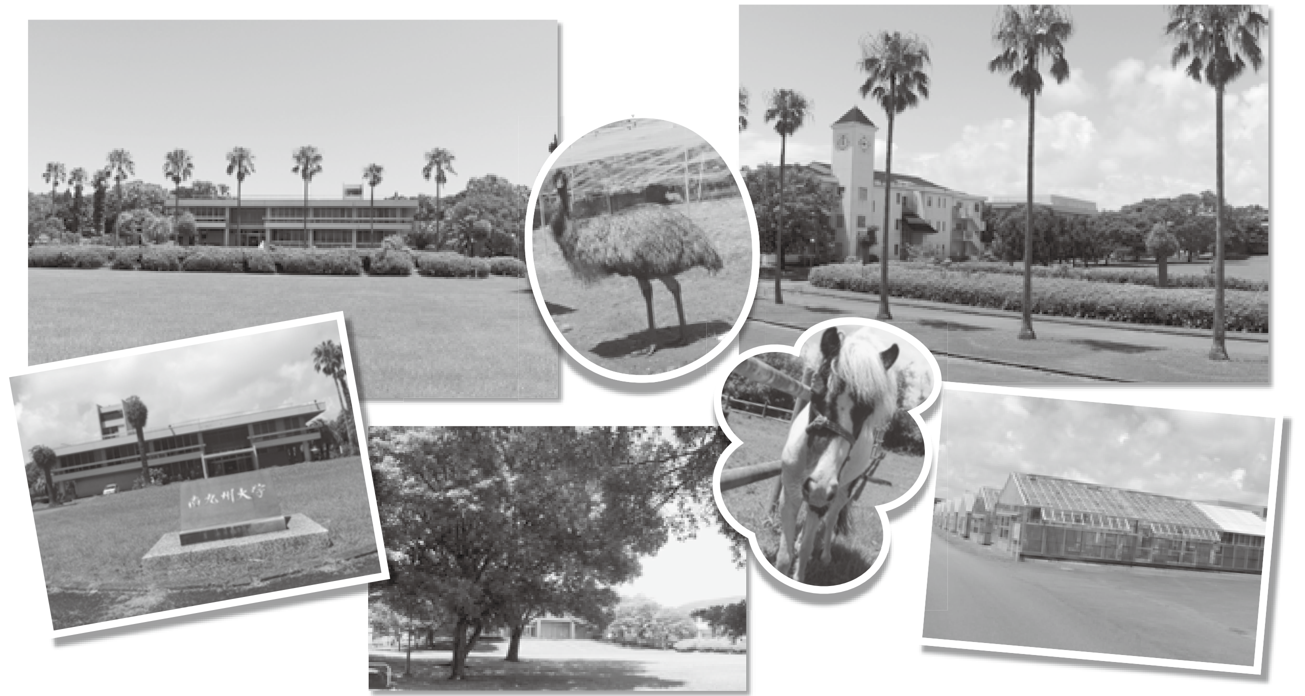
『高鍋キャンパスの利用計画については、現在、長谷川理事長を中心に大学内の委員会で策定中』

今の同窓生のほとんどが高鍋キャンパスでの卒業生です。現在は宮崎キャンパスと都城キャンパスに移り、同窓生としての一番の関心事は、高鍋キャンパスの活用ですが、長谷川理事長におたずねしましたところ標記のようなご回答をいただきました。本通信の学長挨拶にもありますように4つの基本的な考えのもと進められています。

今回、写真を撮るために、久しぶりに高鍋キャンパスを訪ねました。森深いひばり山のひっそりとした静けさの中にも、学生が研究室を往来していた往時を偲ばせる最高学府としての威厳がそこにありました。本館はじめ各研究棟や教室、グラウンドやクラブハウスもそのまま。訪れたのは暑い夏の一日でしたが涼しい海風に吹かれながら、ポニー3頭とエミュー3頭がのんびりと草を食べていました。3期生の私が在学した頃は本館、階段教室、教室棟、図書館と建物などハードはシンプルでしたが、開拓魂というか開墾魂に燃えていた青春そのものでした。

現在、施設もさることながらほ場や芝生などの管理も想像以上に維持・整備されて、美しいという感想がぴったりのキャンパスです。職員も常駐され、大学当局の配慮を感じました。同窓生としてはうれしい限りです。本館の掲示物も在学生がいたままの状態で、時が止まっており、今すぐにでも再開できるのではと錯覚したほどです。

同窓生の皆様も宮崎に来られたときは是非足を伸ばして高鍋キャンパスを訪ねてみてはいかがでしょうか、それぞれの青春の一コマが見えるはずです。



南九州大学ＯＢ・ＯＧ教員の会「南九会」について

南九州大学ＯＢ・ＯＧ教員の会「南九会」の発足は、昭和58年に福岡県の南九州大学出身教員が相互の親睦と母校の発展を願い5名の仲間からスタートしました。

当初は、各自の授業の取り組みや生徒指導の悩み、農業実習指導の在り方など「南九大同窓教員の会」として勉強会を行いましたが、会合を重ねる度に会員数も増加し、会の名称も母校の校名に因み「南九会」としました。

平成11年11月、卒業生と大学教員の親睦、併せて高校教員としての資質の向上を目的とした九州地区第1回研修会を、母校の高鍋キャンパスで開催しました。参加者は九州各県で活躍するＯＢ・ＯＧ教員、この研修会では大学の現状と課題について話し合いがなされ、環境整備が整った母校や、更に発展する母校に隔世の感を持ちながら、卒業生を大切に思う大学に深く感心した研修会でした。

平成13年3月、はじめて大学の先生方を福岡県の原鶴温泉にお迎えして「福岡県南九会総会･研修会」を開催し、平成19年8月には「九州地区南九会」を発足させ、九州地区の南九会規約が総会で承認されました。平成21年には「京都・滋賀南九会」と「中国地区南九会」が続いて発足しました。更に、平成22年8月には都城キャンパス移転に伴い大学事務局と共に全国のＯＢ教員に呼びかけた第3回「ＯＢ教員懇談会」が開催されました。南九州大学出身教員が一堂に会した有意義な集いとなりました。

以後、九州地区では毎年、会員相互の懇親と母校の発展を願い各県の総会と九州理事会が開催されています。

平成24年2月現在、全国の「南九会」会員数は314名となりました。今後も南九州大学同窓生の一組織として、母校発展のため更なる活動を続けたいと願っています。

南九会事務局　波津久　義勝